

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	アセスメントの情報だけではなく、日常の会話や表情から入居者の意向や希望を把握するように個人記録に記載して、職員全員が把握し、意思表示等の困難な方には、御家族へ協力して頂き、一緒に本人本位の暮らしを検討していく。	アセスメント及び個人記録を使用して、本人の有する能力と各活動の記録ができ、夢プロジェクトに繋げていく事ができる。	個人記録等の中に、ご本人の有する能力(できる事・できそうな事)と各活動の要望等を記録して、御家族や本人・スタッフと連携を図り、介護計画に繋げていく。	12 ヶ月
2	2	地域への交流(ボランティア・慰問・地域の清掃等)はもちろんだが、地域へ施設側から出向く事を目標に、取り組みを続けて行きたい。	地域へ出向く事(まずは、地域へのお祭りへの参加を目指す)を目標にして、地域の方への講和や健康教室を開く事ができる。	今後、施設長を中心に地域へ出向き、地域の方への講和や健康教室等を行い、認知症や認知症への理解を深める取り組みを続けていき、理念の一つでもある「開かれたホーム」へと繋げていく。	24 ヶ月
3	37	年に2回、防災訓練を行い、御家族や地域住民の方に参加を促しているが、地域住民の協力を得るまでには至っていない。今後も周囲との協力体制の構築を計って行きたい。	消防団を含む地域連携の強化ができる。	法人にある防災委員を中心に、毎月の自主訓練を続けていくと共に、地域の方々との連携強化の為に、地域の現状に即した防災計画の作成に向けた取り組みを今後も続けていく。	24 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月